

## 8) 靈的エクササイズ 4. 2020年4月18日 (土)

朗読 使徒言行録4：13-21

福音 マルコ16：9-15

父と子と聖霊の御名によって、アーメン。 イエスとマリアは賛美されますように。

皆さん、今日の福音はまるで、雲が多く、霧が立ち込め、ぼやっとした今日の天候のようです。

しかし、福音は福音。良い知らせであることに間違いありません。私たちが先に進めるように、必要な助けを与えてくれます。

今日の福音箇所のマルコ16章9から15節を読みます。私が読んでいるのを聞きながら一緒に読んでください。そして、もう一度、さらにもう一度読んでください。そして、この福音の中で、「私はどの位置にいるか。どこに立っているか。私の場所はどこか。ここで私はどんな態度をとるだろうか。どの箇所が私に訴えかけるか」などと考えてみてください。

イエスがそれを教えてくださるでしょうと、私は確信しています。

——マルコによる福音——

16・9イエスは週の初めの日の朝早く、復活して、まずマグダラのマリアに御自身を現された。このマリアは、以前イエスに七つの悪霊を追い出していただいた婦人である。10マリアは、イエスと一緒にいた人々が泣き悲しんでいるところへ行って、このことを知らせた。11しかし彼らは、イエスが生きておられること、そしてマリアがそのイエスを見たことを聞いても、信じなかった。

12その後、彼らのうちの二人が田舎の方へ歩いて行く途中、イエスが別の姿で御自身を現された。13この二人も行って残りの人たちに知らせたが、彼らは二人の言うことも信じなかった。

14その後、十一人が食事をしているとき、イエスが現れ、その不信仰とかたくなな心をお咎めになった。復活されたイエスを見た人々の言うことを、信じなかったからである。15それから、イエスは言われた。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

私たちの主イエス・キリストの福音。キリストは賛美されますように！

兄弟姉妹の皆さん、信仰、不信仰。これは難しいテーマです。しかし、これがこの日のテーマなのです。

マリア・マグダラはイエスが復活されたことを見、弟子たちのところに行って自分の体験したことを知らせました。しかし、泣き悲しんでいた彼らは、マリア・マグダラの言うことを信じませんでした。

私たちも色々な状況に陥り、泣き、悲しみ、嘆くことがあるのではないのでしょうか？  
よい知らせを聞いても弟子たちのように、その情報を持って来た人は以前は悪霊に取り憑  
(つ)かっていたから、という理由で信じないのでしょうか？

もちろん、嘆き悲しむには様々な理由があります。もう、イエスに会えないということは確かに辛いことです。

では、私たちはこの状態に留まりますか？ 泣き、悲しみ、嘆き続けますか？

福音は先へ進みます。

マルコはゴールへと私たちを導きます。マリア・マグダラの言うことを信じなかった彼らのところに、エマオの弟子たちが帰って来て自分たちの体験を話します。しかし、彼らは二人の言うことも信じなかったのです。すると、イエスご自身が来られます。イエスは、弟子たちの悲しみに沈んでいる態度に満足されませんでした。

こんにちもイエスはそういう態度に満足されません。私たちがどこかに閉じこもり、自分の置かれた状況に対して嘆いたり、誰かのせいにしてたり、教会に対して不平不満を言ったりすることに満足されません。

イエスは弟子たちの不信仰とかたくなな心を咎（とが）められました。私たちの態度は心の状態から来ます。「心」とは、神と繋がる私たちの魂、霊のことです。私たちの心が生き生きとしているなら、それは神の力に満たされているからです。その時、私たちの中に命があるのです。

みなさん、イエスは弟子たちのかたくなさ、かたくなな心を咎められました。もしかすると、今、心を固くして不信仰な状況にいるあなたを、あるいは私を、イエスは咎められるかも知れません。

弟子たちを咎められたイエスは、その後、驚くようなことを言われます。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

考えてみてください。彼らは不信仰でかたくなな心の状態にありました。そのまま福音を述べ伝えなさい、とイエスは言われているのでしょうか？

いいえ、私たちは、イエスは聖霊の到来を約束されたことを知っていますね。聖霊が降れば、イエスへの愛、福音への愛で彼らの心が燃えるようになること、聖霊で満たされれば、恐れを抱かずに福音を宣べ伝えるために出て行くようになることを約束されていました。

さて、皆さん、私たちは出て行く前に、この日々を利用しましょう。

聖書で自分をスキャンしましょう。みことばによって、自分の不信仰、かたくなさがどこに隠れているか探りましょう。まだ、私を繋いでいる鎖がどこにあるのか、見せていただきます。

もしかすると、他人の意見や、自分への評価を気にかける傾向がある人がいるかも知れません。不信仰な人に鎖でつながっているかも知れません。

皆さん、心の奥に入りましょう。この日々に、イエスに触れていただきましょう。この黙想会を通して、きっと皆さんの心が、喜び、光で満たされるだろうと私は確信しているのです。

主の祝福を願いましょう。十字架の上から主イエス・キリストが私たちへの愛ゆえに流された尊い御血の下に私たち皆を置きます。

主よ、あなたの御血で私たちを洗い清め、癒し、新しく造りかえてください。

皆さんを神の愛によって祝福します。全能の神、父と子と聖霊の御名によって、アーメン